

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2002
Winter
No.42

特集

はじめよう! 「e-Learning」

研究内容紹介「外国語習得のためのオーラル・
コミュニケーション・ストラテジーの解明」
研究トピックス「働きもののメンタルヘルス」

流通科学部での実学教育の推進

流通科学部長 古川 公成

理論と実際の統合を図り、実学を重視した教育と研究に努めることが中村学園大学の基本的な姿勢です。ご承知のように、これまで本学では食物と栄養の領域を力バする栄養科学部、幼児及び児童の発達の領域を力バする人間発達学部、そして食物栄養・家政経済・幼児教育の三科をもつ短期大学の三部門が優れたティーチング・スクールとして実績を蓄積してきました。それぞれのカリキュラムには、学内での理論と応用の学習に加えて数多くの学外実習も含まれています。管理栄養士、栄養士、保育士、教諭などの資格を取得した卒業生が、国内各地で食と栄養、教育あるいは一般企業の各分野でスペシャリストとして活躍を続けていることが本学の誇りです。

流通科学部も学園の伝統にそって実学重視の教育理念を継承する組織

です。今後も急速な変化を続けるに違いない流通関連産業でいきいきと活躍する人材の養成をめざす流通科学部では、学部設立後三年目に入る今年から流通科学関連の専門科目が次々に始まり、学外での実務の観察や就業体験を織り交ぜた授業も始まります。企業や研究機関での実務経験が豊富な専任教員グループが実学教育の目玉となるインターンシップの導入とゼミナール学習も推進します。

インターンシップは、主に福岡周辺の企業や公共組織のご協力を得て、夏か翌年春の二週間前後、何割かの三年生に就業体験をしてみようという制度です。ご協力をお願いする企業の多くに、初めてのご経験になるこの制度との取り組みについては、学内他学部がもつ実習実施の経験も教わりながら、流通科学部第一期生、受け入れ企業、そして流通科学部教職員のいずれに

とつても実りの多い試みにするよう周到な準備を進めています。

金融・産業技術・情報・交通など幅広い領域での変化がグローバルに、しかも速いスピードで進む世界で、流通産業が果たす役割はますます重要になります。情報技術、TOEIC、販売士、簿記などの資格を在学中に取得する在校生の意欲を支援する体制も整え、流通産業内外で発生する変化への対応に挑戦する人材に求められるものの考え方と態度と知識と技能を兼ね備えた人材を、一人でも多く養成しようとするのが流通科学部です。学内外の皆様には、是非、今後とも流通科学部への暖かいご声援とご協力を賜りますようお願いいたします。



2002
Winter
No.42

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第5回

流通科学部での実学教育の推進 ①

特集

はじめよう! 「e-Learning」 ③

研究内容紹介「外国語習得のためのオーラル・
コミュニケーション・ストラテジーの解明」 ⑦

研究トピックス「働きもののメンタルヘルス」 ⑧

山元学長 西日本文化賞受賞 ⑨

表彰のお知らせ ⑩

平成14年度推薦入学選考結果/3月入試のお知らせ
第2体育館、来春にオープン/クリーンキャンパス ⑪

図書館だより ⑫

教員の出版物

イベント&ニュース ⑬

学園祭

食物栄養科特別講演会

餅つき大会

ラクロス同好会・九州リーグで優勝

バトン愛好会・九州大会で優勝

三成教授・研究事例発表

どんぐりころころを英語にしたら?

学園往来

平成13年度科学研究費補助対象研究・追加採択

研究助成・受託研究等採択状況



はじめよう! 『e-Learning』

本学・流通科学部では、今年度から、インターネットで学習する「e-Learning」をスタートさせました。「e-Learning」は、まだ一般になじみのない言葉ですが、Webを使った学習方法として、現在、最も注目をあびている教育システムです。さて、「e-Learning」とは、どういうしくみで、何ができるのでしょうか?

e-Learningについて

流通科学部 教授 神品 光弘

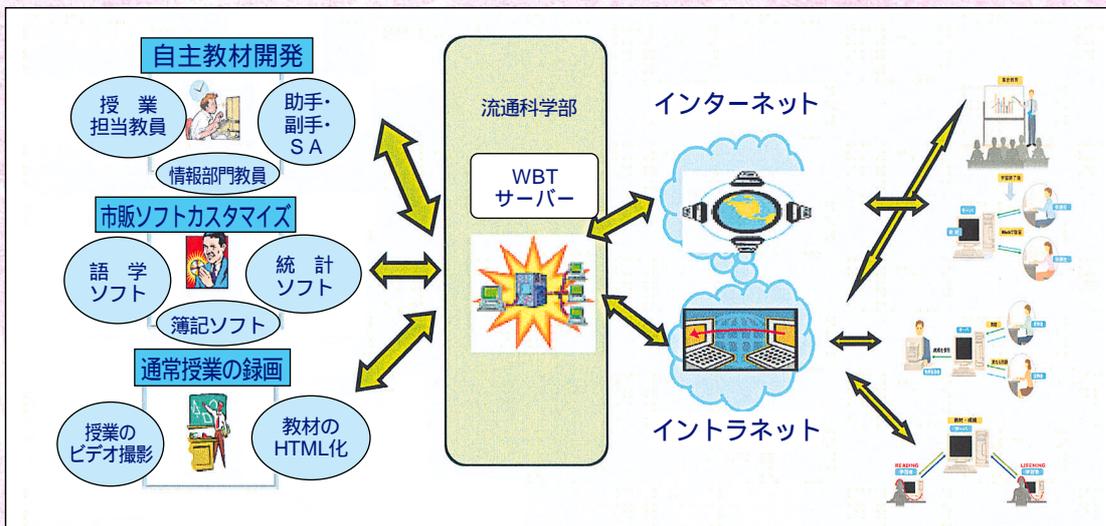
e-Learningとは

e-Learningはコンピュータシステムを通して実施される高度に情報化された教育の手法や形態の総称として使われています。e-LearningにはWBT(Web Based Training)、CD-ROM授業、TV会議システム、電子会議、遠隔授業などさまざまな技術やシステムが開発され使われていますが、ネットワーク(インターネットやイントラネットなど)を利用して授業したり学習したりする教育システムとしてWBTがe-Learningの代表的システムとして注目されています。WBTはwebベース方式のe-Learningの一つの標準化の方向を示しています。e-Learningは大学教育が直面している①分り易く学習意欲を高める授業の実現、②インタラクティブで直接指導方式の授業の充実、③いつでもどこでも学習できる遠隔授業の拡大などの諸問題を解決する大学教育改革の大きなムーブメントとなっています。流通科学部ではH13年度後期よりWBTを導入いたしましたので、ここでは、WBTの概要と実施状況についてご説明いたします。

WBTの概要

WBTは図1に示しますように電子メディアで開発したコンテンツ(教材・授業ソフト)をwebサーバーからイントラネットやLANを介して学内の教室での授業に使ったり、インターネット経由で学外(自宅等)で受講・自習することの出来るシステムです。WBTシステムはコンテンツの開発支援機能、講座の運用管理機能、コンテンツを教室や受講生個人に配信する機能、インタラクティブ授業の支援、オフライン学習支援、掲示板管理、受講生の出席管理、レポート管理、成績管理などの機能が標準的に組込まれています。さらには、座学形式の通常の授業をビデオで録画しておいて、受講生が理解しやすいようにビデオ画面・テキスト画面・資料画像画面を駆使して編集して配信するビデオオンデマンド方式があります。また、実際の授業をリアルタイムで行なう同期型とオフラインで自学自習を行なう非同期型があり多様な目的の授業・学習・研修に利用することが出来ます。

【図1】



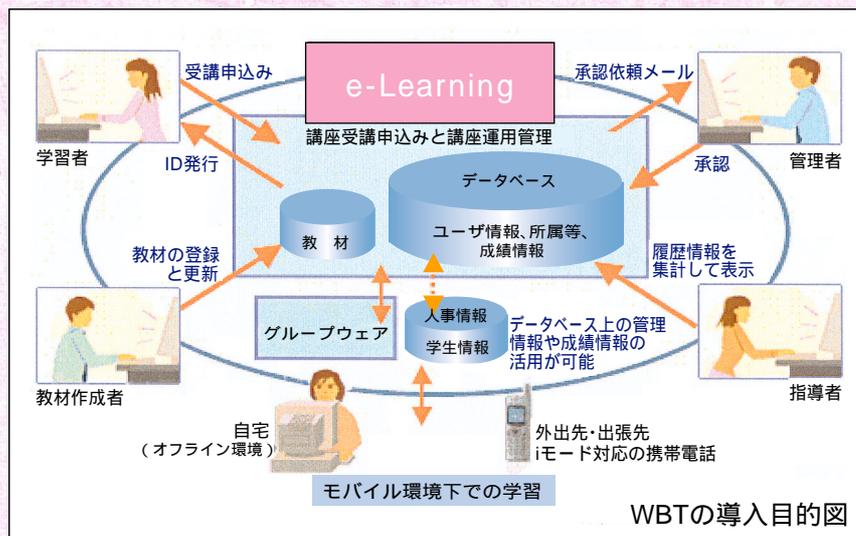
WBT(Web Based Training)はe-Learningの代表的なシステムです。

コンテンツの開発

最近では、多くの先生方がパワーポイントやワープロなどの電子教材を使って授業を行なわれていますが、WBTではパワーポイントのスライドやワープロ教材をHTML形式に変換して授業進行の流れに沿って編集することで教員が自ら独自のコンテンツを開発して授業を工夫・改善することができます。e-Learningの普及につれて、優れたコンテンツが市販され利用されるようになっていきます。今後、WBTの進展によって教科書利用が中心の座学教育から電子メディアのコンテンツを利用したe-Learningが大学教育の形態を変革することが叫ばれています。

WBTの導入目的

流通科学部では流通科学と言う新たな学問分野の教育にふさわしい授業の方法を議論した上で、次のような目的でWBTを導入しました。①web環境で革新が進展している流通ビジネスを教育するのにふさわしいweb指向の教育システムを実践する、②見えない・聞こえない・分りにくい授業をビジュアルでエキサイティングな授業に改善することで学習意欲と理解度を向上させる、③一方向の受身の授業から双方向で学生参加型の授業に改善する、④授業をネットで公開することで、教室閉鎖型の授業から公開型授業となるので授業内容を高度化し授業品質の向上を図る、⑤出席管理・進捗管理機能を活用して1人1人の理解度と学習進度を個人ベースで指導することで落ちこぼれゼロの授業を実践する、⑥いつでもどこでも学習できる学習機会を拡大できるようにする。



流通科学部のWBT

流通科学部では13年度後期より学内の教室での授業と自習室での自学自習を目的としてWBT講座を開講しました。13年度後期は学内イントラネットによる利用に限定していますが、14年度よりインターネット経由で在宅学習ができるように準備を進めています。コンテンツはほとんどが市販ソフトですが、福浦 幾巳教授は簿記の授業に先生が自己開発したコンテンツを使って授業を進めています。今後、学部の教員が開発した独自のコンテンツを増やすことを計画しています。

ログインについて

さて、実際のWBTを使うには受講生は流通科学部のHPに設けてある『e-Learning』のリンクから図2のようなログイン画面を開きます。各自のIDとパスワードを入力しますと、その学生が履修登録した科目（講座）一覧(図3)が表示されますので、科目を選択して学習を開始します。科目の履修状況や科目ごとの学習進捗状況が表示されます、また、受講生の理解力や学習速度に合わせて学習内容を選択することもできますので、各自のペースで学習を進めることができます。テストもさまざまなオプション機能が使えますので科目の特性や学習の目的に合わせたテストを受けることができます。レポート機能を使ってwebによるレポート提出と提出状況管理やレポート添削・指導を行うことができます。回線の細い環境や、ネットワークに接続できないスタンドアロン環境でもオフライン学習機能でダウンロードしたりCD-ROMを利用してオフラインで学習することができます。科目担当教員は出席管理、学習進捗管理、成績管理、成績分析、コミュニケーション機能を利用してクラス全体の進捗と個人個人の学習進行をリアルタイムで行うことができます。この他に、流通科学部のWBTには教材作成機能と運用管理機能があります。

【図2】



ログイン画面。平成14年4月より、一般公開予定です。

【図3】



現在は7講座ですが、今後充実させていく予定です。

現在のコンテンツは、①HTML入門、②TOEIC470点対策、③TOEICテスト、④簿記検定2級、⑤EXCEL、⑥WORD、⑦わかりやすい簿記で情報系、語学系、簿記系の学習用に利用されています。その用途は授業での直接利用と課外や学外での自学自習ですが、自学自習は正規の時間で学んだ授業を反復学習することや資格取得のための自主的学習を支援するように設定されています。現在、福浦教授の簿記の授業は図4-1の目次の授業内容に沿って授業が行われ、テストをまじえて大変効果的な授業が進められています。

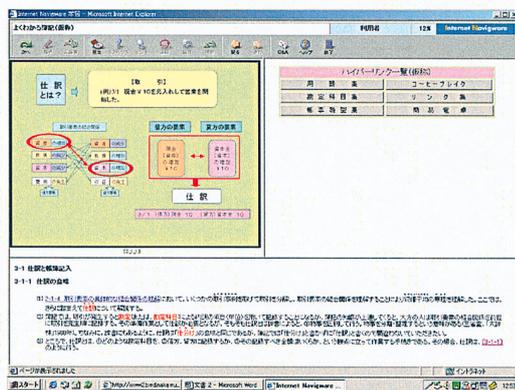
【図4-1】



「よくわかる簿記(仮称)」の目次。履修状況の他、どこまで学習できたか進捗率が表示されます。

現在は導入実験の段階であり先生方が現行のコンテンツを授業に活用する方法を模索されている状況であり、まだ十二分に利用されてはませんが、学生達の関心を集めています。また、簿記の学習など事務職員の皆さんも受講されていますように学生だけでなく事務職員の研修にも拡大することが可能です。14年度からは全学的に流通科学部と同じWBTのシステムが導入されますので、情報処理センター運営委員会(委員長:島内 博行教授)等で各学部内の授業だけでなく学部間の授業の多角的な交流を行う方法が検討されています。さらには、近い将来には科目等履修生の制度を活用して卒業生等が学外から授業を受講することも可能となりますので、その方法やそのための講座の拡充が急がれます。

【図4-2】



「よくわかる簿記(仮称)」の学習画面。用語にハイパーリンクがはられ、説明を見ることができます。

【図4-3】



学習日数、学習時間やクラス内順位などもみるることができます。

e-Learningの現状

昨年、設立された先進学習基盤協議会(ALIC: Advanced Learning Infrastructure Consortium、会長:坂元 昂(メディア教育開発センター所長))は日本におけるe-Learningの強力な推進機関となっていますが、その報告によりますと米国ではe-Learningを導入している大学が1999年時点ですでに35%に達しているが、2004年には80%(3300校超)に達すると見込まれています。このことは、必ずしも大学教育の教育インフラがe-Learningに取って代わることを意味するものではありませんが、e-Learningによる在来方式の教育の大胆な改革が進展すること必定です。米国に大きく遅れている日本でも、メディア教育開発センターの調査(昨年)によると何らかの形態でe-Learningを導入している大学が急速に増えており17.1%に達しています。しかし、本学で導入したような本格的WBTを実施している大学は数少ないと言われています。九州の4大では初めてではないかと見られます。その意味で、本学での全学的な取り組みが期待されます。現在は学内のみの利用ですが平成14年4月より、このWBTを体験学習できるようになりますので、ぜひご体験ください。

学内用URL: <http://www2.bmd.nakamura-u.ac.jp/inav>(ID:guest、パスワード:guest)

平成14年4月より、このWBTを一般公開する予定です。
 中村学園大学ホームページ
 URL: <http://www.nakamura-u.ac.jp/>

外国語習得のためのオーラル・コミュニケーション・ストラテジーの解明

短期大学部 家政経済科 助教授 中谷 安男

「人はいかに言葉を覚え、使えるようになるのか」応用言語学の命題である。母国語における言語習得は、人の持つ生的能力が重要な役割を果たすことが解ってきた。乳児はケア・テイカー（通常は母親）から音や発話形体の刺激を受け、次第に使用すべき言葉を認知していく。この段階がある程度進むと、自分で言葉を使い始め、Bubbling（意味のない音を発する）、one-word（単語一つ）、two-word（単語を二つ並べる文法の始まり）と進み、この過程は世界中の言語全てに共通である。特に音の習得に関しては、3歳位までに臨界期というものがあり、それを過ぎるとネイティブ・スピーカーとしての発音は困難になる。

母国語はこのように自然に身につくが、外国語はどうであろう。我々が学ぶ時苦勞するのは、生的能力では補えない、高度な認知能力が要求されるからである。外国語では言語自体に関する知識、社会言語知識、及びそれらを運用するストラテジー能力が必要だとされている。過去の外国語指導は言語形体知識の面が強調されてきた。しかし、目標

言語使用の社会的コンテキストの理解なしに習得は困難である。これに加え、外国語の認知能力自体を発達させるストラテジー能力の重要性が近年認識され、その修得法の発見が重要な課題である。私は特にコミュニケーションに主眼を置き、メタ認知ストラテジー及びオーラル・コミュニケーション・ストラテジー（OCS）に注目した。前者は外国語の運用を可能にする意識化された方略である。私はこの中で、準備、モニター、振り返り、既存の知識への融合といった一連の行動を認知させる方法を確立した。後者は外国語習得に直接関係のある、談話における困難を予見し、取組み、問題解決する能力と定義されているが、具体的に何が有効か解っていない。人の言葉は複雑でその特徴は容易に分析できない。そこで言語事象を正確に把握するため、複数の実験手法を同時に用いて多面的アプローチを実施した。被験者400名に因子分析の手法を用い15のOCSの因子を抽出した。これらのストラテジーが実際のデータでいかに使用されるのか124名の英語対話をスクリプト化し談話分析を行い検証した。信頼性を高めるため被験者に対してプロトコールアナリシスを実施し、自らの発話を振り返らせた。以上得られたデータ全てを独立変数とし、被験者の英語読解・聴解・発話能力を測定し従属変数として多重回帰分析を実施した。これら4年間に及ぶプロジェクトの結果、外国語習得に有効なOCSのNegotiation StrategiesとFluency-oriented Strategiesを特定化することができた。これらの方略を体系的なシステムとしてどのように取り入れていくのかが今後の課題である。

被験者の実際使用しているストラテジーと認知しているストラテジーにおける多重回帰分析の結果

Table 1 Results of stepwise multiple regression analysis focusing on the transcription data

Independent variables	Unstandardised Coefficients		Standardised Coefficients	
	B	Std. Errors	Beta	t
(Constant)	-0.40	0.77	-0.52	0.603
Response for maintenance	0.10	0.03	0.35	3.27
Production rate	0.79	0.33	0.27	2.41
Negotiation of meaning	0.11	0.05	0.21	2.06
Pre-test	0.21	0.11	0.19	1.91

Table 2 Results of stepwise multiple regression analysis for strategies for speaking part on the OSCI

Independent variables	Unstandardised Coefficients		Standardised Coefficients	
	B	Std. Errors	Beta	t
(Constant)	-3.84	1.27	-3.03	0.004
13 I make comprehension checks to know the listener understands what I want to say.	0.64	0.184	0.431	3.51
21 I try to talk like a native speaker.	-0.56	0.15	-0.39	-3.77
9 I pay attention to the conversation flow.	1.18	0.19	0.67	6.14
Pre-test scores	0.44	0.09	0.40	4.59
1 I try to relax when I feel anxious.	0.65	0.17	0.34	3.82
14 I repeat what I want to say until the listener understand my intention.	-0.55	0.19	-0.35	-2.83
11 I take my time to express what I want to say.	0.49	0.17	0.29	2.98
8 I pay attention to my pronunciation.	-0.33	0.18	-0.18	-1.84
10 I change my way of saying according to the context.	-0.33	0.17	-0.20	-1.98
25 I try to make eye contact when I am talking.	-0.36	0.16	-0.23	-2.31
23 I use words which are familiar to me.	0.46	0.26	0.16	1.77

B: Regression coefficient Std. Errors: Standard errors

Beta: Standardised partial regression coefficient Sig.: Observed significance level of the test

プロフィール

慶應義塾大学経済学部卒業。米国ジョージタウン大学言語学部大学院英語教授法資格取得。オーストラリア国立マッコーリー大学大学院英語・言語・メディア学研究所応用言語学専攻修士課程修了。応用言語学修士。現在、英国バーミンガム大学大学院英語研究科英語応用言語学専攻博士課程に在籍し「ストラテジー能力」に関する研究に取り組んでいる。4月より英国オックスフォード大学教育研究科客員研究員として赴任。



「働きもののメンタルヘルス」

短期大学部 幼児教育科 講師 山崎 篤

日本人はよく、勤勉だと言われています。仕事を生き方の中心には置かないライフスタイルも広まってきているとは言いますが、現在の日本の豊かさを作りだし、バブルが崩壊した今も、何とかそれを支えているのは、多くの日本の働きものたちです。泡がはじけとんで、リストラや合理化、構造改革によって日本経済が生き延びていこうとしている現状にあっては、さらに働きものであることを求められている、というのが実状のようです。

近年、私たち臨床心理士が臨床の現場でお会いする方の中に、会社や企業などの第一線で働いておられる人たち、またはおられた人たちが目立つようになってきました。職場や家庭でのストレスをため込み、うつや神経症症状を示しておられる方が多いようです。ほとんどの方が、きちんとした休養と軽いお薬、そしてカウンセリングによって立ち直っていかれます。ただ、周囲の人が気づくのに遅れたり、現実的な失敗や困難が重なったりする中で、入院を含めた長期的な治療が必要になることもあります。この厳しい経済状況の下、自分から救いを求めようとしない方が多いようにも思います。

1988年に労働大臣(当時)公示「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」が出されてから、身体面だけではなくメンタルヘルスにも考慮した労働条件や環境の整備が求められるようになってきました。「ストレスのたまりにくい職場」へと、環境の側の条件整備が重要であることはもちろんですが、各個人が職場や家庭でのストレスを、回避することも含めて自己管理していくこともまた必要です。私たちがお会いする働きものたちは、共通して、どうもこのストレス管理が苦手であったり、管理していく余裕がもてないほどに追いまわされたりしている人たちのようです。仕事上のストレスは最も回避しにくいストレスだと

言われています。自分の立場や周囲のことをつい考えてしまう働きものたちは、ついつい過剰にストレスを引き受けてしまうことが多いのかもしれませんが。

一日の疲れは、入浴や睡眠、団欒や楽しい食事、一週間のストレスは週末の趣味や休養で、そして一年の疲れは休暇で解消していくようにしたいものです。仕事以外に打ち込める趣味や、職場以外の人とのつながりも持つようにしましょう。疲れてゴロゴロするだけでなく、スポーツや趣味でリフレッシュするゆとりを持って下さい。それでもたまった時には長めの休みを取る、仕事をセーブすることも必要です。場合によっては、精神科やカウンセラーのもとを訪れることも必要でしょう。敷居が高く感じられるかもしれませんが、「心が風邪をひいた」くらいのつもりで早めに受診される方が、予後も良いようです。働きものたちが、積極的にクリニックやカウンセラーを利用する時代がきているのかもしれませんが。



プロフィール

九州大学教育学部卒業。九州大学大学院教育学研究科修士課程修了。同博士後期課程単位取得後中退。修士(教育学)。専門分野は臨床心理学、精神分析学。近年の研究テーマは、精神分析的児童治療において、「遊ぶこと」がどのように発生していくのかというものである。



表彰のお知らせ

「日本栄養改善学会・学会賞 受賞」

平成13年度日本栄養改善学会で、林辰美助教授が学会賞を受賞した。これは、助教授の研究「小児期からの生活習慣病予防健診の現状と栄養摂取状況 - 高校生の肥満、血圧高値者にみられる食生活、生活習慣ならびに自覚症状の実態 - 」が「高く評価されたもので、平成13年10月に大阪で行われた第48回日本栄養改善学会学術総会にて表彰状が贈られた。



林辰美 助教授
大学/家政学部/
食物栄養学科

「全国栄養士養成施設協会表彰」

栄養士・管理栄養士養成施設教員顕彰者として、伊藤和枝教授が表彰を受けた。この表彰は、栄養士・管理栄養士養成施設に永年勤務し、その養成に多大な貢献をなした教員に対し贈られるもので、平成13年11月、全国栄養士養成施設協会から表彰状が授与された。



伊藤和枝 教授
大学/家政学部/
食物栄養学科

「福岡県知事感謝状授与」

永年にわたって栄養士養成に貢献を与えたことで、平成13年9月に行われた福岡県栄養改善学会にて、福岡県知事より感謝状が手渡された。

平成14年度推薦入試結果

(中村学園大学 大学院)

専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	6	4	4	4	1.00

競争率は、受験者数 / 合格者数 (小数点第3位以下を四捨五入)

(第1次試験入学選考合格者を含む)

(中村学園大学)

学部・学科	専攻	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
栄養科学部 栄養科学科		公募制	70	240	240	87	2.76
		併設校	30	30	30	30	1.00
人間発達学部 人間発達学科	幼児発達学専攻	公募制	40	88	87	52	1.67
		併設校	10	10	10	10	1.00
	児童発達学専攻	公募制	18	44	44	22	2.00
		併設校	7	7	7	7	1.00
流通科学部 流通科学科		公募制	20	26	26	22	1.18
		併設校	30	37	37	37	1.00
		指定校	45	46	46	46	1.00

競争率は、受験者数 / 合格者数 (小数点第3位以下を四捨五入)

栄養科学部・栄養科学科(現家政学部・食物栄養学科)

人間発達学部・人間発達学科 幼児発達学専攻(現家政学部・児童学科 児童学専攻)

人間発達学部・人間発達学科 児童発達学専攻(現家政学部・児童学科 児童教育学専攻)

(中村学園大学短期大学部)

学科	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
食物栄養科	公募制	94	159	159	113	1.41
	併設校	16	16	16	16	1.00
家政経済科	公募制	10	11	11	11	1.00
	併設校	30	28	28	28	1.00
	指定校	120	168	168	168	1.00
	自己推薦	10	22	22	22	1.00
幼児教育科	公募制	90	227	226	126	1.79
	併設校	20	20	20	20	1.00

競争率は、受験者数 / 合格者数 (小数点第3位以下を四捨五入)

3月に実施される入試のお知らせ

中村学園大学・流通科学部

	試験日	出願期間
一般入学試験(後期)	平成14年3月12日	平成14年2月25日～3月7日

問い合わせ先:092-851-2531

中村調理師専門学校

	試験日	出願期間
第3回一般入学試験	平成14年3月19日	平成14年2月18日～3月13日

1日体験入学:平成14年2月24日(日)10:30～14:00

問い合わせ先:092-523-0411

中村国際ホテル専門学校

	試験日	出願期間
第5回一般入学試験	平成14年3月23日	平成14年3月19日まで

学校見学会:毎週土曜日 13:30～15:30

問い合わせ先:092-523-0410

第2体育館、来春にオープン!

- 柔剣場や、シャワー室を完備 -

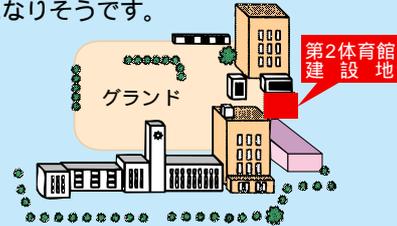


第2体育館完成イメージ

第2体育館建設の起工式が、平成14年1月31日、行われました。建設されるのは、西4号館前(元駐輪場)です。

第2体育館には、柔道場・剣道場のほか、シャワー室、多目的ホールなどが入ります。環境保護を考慮したづくりが随所に見られ、地下を利用した自然給気システム、雨水を利用した中水道システムは、今回建物の大きな特徴です。

年内完成を予定しており、学生のみならず、実際に利用できるのは、来年1月からになりそうです。



ク リ ー ン キ ャ ン パ ス

休み時間を利用して、美化運動

学友自治会 永濱 理恵

教室内に放置されているゴミをなんとかしようという試みで、クリーンキャンパス運動を実施しました。これは、学友自治会執行部が主体となって昼休み時間に教室内のゴミ拾いを行うというものです。昼食をとっていた学生にも協力してもらい、とてもスムーズに美化活動が行えました。この運動と同時進行でキャッチコピーを募集しました。ただゴミを拾うのではなく、学生一人一人にゴミを放置しないという意識付けにもなると思い、実施してみたところ、多くのキャッチコピーが集まりました。

クリーンキャンパス運動を行ってみて、学生もきれいな環境で勉強していきたいという意見を多く聞くことができました。それならば、今回の運動だけに終わらず、まず学生一人一人がゴミをゴミ箱に捨てるように呼びかけたり、ゴミ箱を多く設置したりし、今回のような運動も行っていけるように執行部一同がんばっていかうと思っています。



クリーンキャンパス キャッチコピー 上位入賞者

- 大賞** 「捨てないで ごみと一緒に マナーまで」
管理栄養士専攻4年/渡辺かおる
- 金賞** 「きれいだね 言われてうれしい 学園に」
管理栄養士専攻1年/小田千尋
- 銀賞** 「ごみ一つ 捨てぬ心が 美化守る」
食物栄養学科/助教授/本間学
- 「忘れないで 机の中に 置いたごみ」
短期大学部/食物栄養科1年/石井多樹
- 「『まあいいか』そのゴミたまって 山になる」
短期大学部/食物栄養科1年/水流景子

参考図書を利用しよう!!

皆さんは参考図書コーナーを有効に活用されていますか？大量の情報を持つコーナーですが比較的使用が少ないようです。大量の情報を持つからこそどう利用すればよいかわからない人もいるかもしれません。身近に参考図書を利用して、図書館をもっと活用しませんか？

参考図書とは

簡単に言えば、「読むための本ではなく、調べるための本」です。辞(事)典を最初から最後まで読む人はいません。参考図書の利用目的は事柄・言葉を調べることです。よって、辞典・図鑑・地図・統計集・白書・索引類が参考図書と呼ばれます。(図書館へ入館してすぐが参考図書コーナーです。)

【本を探す】

①市販図書を探す

- 「出版年鑑」…1年間で刊行された市販図書の基本文献が探せます。毎年刊行され、前年の新刊書を集めている図書リストです。
- 「日本書籍総目録」…現在流通している図書の総目録です。古い図書でもこの本に出ているものは取り寄せ可能な図書であると判断できます。

②非売品図書を探す

- 「日本全国書誌」…研究、レポート作成に欠かせない統計や調査報告書等は非売品が多いものです。非売品図書を検索できることがこの資料最大の特色です。日本で刊行された図書をほぼ網羅的に掲載しています。

【雑誌記事を探す】

「雑誌記事索引」…雑誌の論文記事を探す最も基本的なものです。学術雑誌・大学紀要等の記事を収録しています。

(CD-ROM版もあります)

「科学技術文献速報」…科学技術に関する論文に抄録(内容要旨)を付しているものです。論文の選択を効率的に行うことができます。(4階に配架しています。)

【新聞記事を探す】

「新聞縮刷版」…現物の新聞をそのまま縮小しブック形態にしているもので、1ヶ月後に刊行されます。巻頭にある索引を利用すると便利です。当館は、朝日、毎日、日本経済新聞縮刷版を閲覧できます。(4階に配架しています)

「明治ニュース事典」「大正ニュース事典」「昭和ニュース事典」…記事そのものが何新聞のどこに出ているか、記事内容はどのようなものかを調べるのに便利です。

【雑誌所蔵館を調べる】

「学術雑誌総合目録」…学術雑誌がどこの図書館に所蔵されているかがわかります。(CD-ROM版もあります)国立情報学研究所のホームページ(<http://webcat.nii.ac.jp>)からの検索も便利です。

【人物から文献を探す】

「新現代日本執筆大事典」…人文・社会科学分野に属する執筆者がどのようなものを書いたかを調べられるとともに、その人物を研究する文献を調査するのに便利な事典です。

以上説明した資料は参考図書の一部にすぎません。他にも参考図書コーナーには地図、法令集、百科事典、各省庁発行の白書などが揃っています。また、皆さんが身近に利用する「知恵蔵」「現代用語の基礎知識」「Imidas」も参考図書コーナーに配架されています。わからないことは職員にお尋ねください。図書館を利用するたびに新しい発見があると思います。

教員の出版物

書名	著者	発行	発行年月日
家族社会学	坂本 喜久雄 共著 家政学部/食物栄養学科/教授 佐々木 美智子 共著 家政学部/児童学科/助教授	九州大学出版会	平成13年10月
こころを育てる人間関係	那須 信樹 共著 短期大学部/幼児教育科/講師	保育出版社	平成13年10月
新版 食品化学実験	橋本 俊二郎 短期大学部/食物栄養科/教授 波平 元辰 家政学部/食物栄養学科/教授 山藤 圭子 短期大学部/食物栄養科/教授	講談社サイエンスティフィク	平成13年11月
身体組成研究の基礎と応用	今井 克己 共訳 短期大学部/食物栄養科/助教授 増田 隆 共訳 短期大学部/幼児教育科/講師	大修館書店	平成13年12月
コーヒーの事典	太田 英明 共著 家政学部/食物栄養学科/教授	柴田書店	平成13年12月

著者は、本学教員のみ記載

新着情報

冷静と情熱のあいだ

江国香織 著 / 辻仁成 著

史上初、世紀のコラボレーションが一冊の本に。連載当時のままに、rossoとbluが交互に綴られる往復書簡のような形に再構成。すれ違い重なり合う男女の想いが、より深く、強く、あなたの胸に響きます。



21世紀家族へ 家族の戦後体制の見かた・超えかた

落合恵美子 著

家族について見えてくるものは、「個人化する家族」だれもが「家族」に属するという事はなくなり、「個人」よりも大きい社会的単位は存在しなくなる、という社会のイメージである。こうした「個人を単位とする社会」が描かれている。



プロジェクトX 挑戦者たち (VHS版)

NHK編

1. 巨大台風から日本を守れ
2. 窓際族が世界規格を作った
3. 友の死を越えて
4. ガンを探し出せ
5. 世界を驚かせた一台の車
6. 執念が生んだ新幹線
7. 海底ロマン!
8. 深海6500Mへの挑戦
9. 厳冬黒四ダムに挑む
10. 翼はよみがえった



11/2~4 学園祭 霜月祭「童心-あの日を忘れない-」

霜月祭は、11月2日(金)~4日(日)「童心 あの日を忘れない」というテーマで行なわれた。今年度から、事前に学園のホームページにも、その内容を掲示した。

本年度の学園祭の大きな変更点は、タレントによるコンサートを廃止したことである。その結果、入場者数は減り、トータル5千人程度とはなったものの、それらの方々は、純粋に中村の学園祭を見に来てくれたわけであり、何ら減少を嘆くべきではない。むしろ、2日目の豪雨の中でも来てくださった方々が多かったことには、学生と子どもも感激している。また、内容もテーマの通り、子供を対象にしたものが多くなり、さらに、バザーや展示の数も増えた。展示部門を対象とした理事長賞は古賀信幸・野村合同ゼミに贈られた。なお、チャリティーの売上金171,100円は、施設の老化の著しいという鞍手乳児院に寄付された。

(家政学部 児童学科 助教 古村 正美)



パンフレット

11/29 食物栄養科特別講演会

学生、教職員を対象に、食物栄養科特別講演会が西1号館10階大講義室で開催された。講師は篠原和毅先生(独立行政法人食品総合研究所食品機能部部長)で、「機能性食品の開発動向と農林水産物の生理的機能性」という演題で行われた。

12/21 餅つき大会 60キ口的もちと、300人分の豚汁が空に!

今年は自治会執行部主催行事として、例年行われていた運動会に代わり、餅つき大会を開催しました。今回の餅つき大会は、全学生および教職員を対象とし、当日は、餅つきの技術援助として別府校区の方にも協力していただきました。当日は朝早くから材料の仕込みをし、60キ口的もちと300人分の豚汁を用意し、開催に望みました。悪天候のため、第二学生ホールでの開催となってしまったのが、残念です。また、平日の放課後ということで、人が集まってくれるか非常に心配でしたが、開始時間前には、数百人の学生がすでに集まっていました。その後も、次々に人が増え、あっという間に豚汁のなべは空になり、もちも一つ残らずなくなってしまったという、盛況ぶりでした。

みなさんのご支援で、大成功をおさめることができました。執行部役員一同お礼を申し上げます。ありがとうございます!

(学友自治会 辻野 雄大)



ラクロス同好会・九州リーグで優勝 私たちの挑戦は、始まったばかり

ラクロスと聞いて「あー、あのスポーツね!」とすぐわかる方は、まだ少ないでしょう。

それもそのはずで、ラクロスは、九州地区に普及してまだ10年、という日の浅いスポーツなのです。発展途上ではありますが、この10年という節目の年に、九州地区のリーグ戦で優勝することができ、大変嬉しく思っています。また今回応援していただいた先輩、関係者の皆様にも、心から感謝します。

ラクロスは、とても奥が深いスポーツで、まだマイナーであるがゆえに、友達や先輩・後輩の絆が非常に強いのが特徴です。このスポーツを通して童心に帰ったかのように一つのことに夢中になる楽しさを感じ、そして、人と人をつなぐ信頼関係がとてもかけがえのないものだということも知りました。この環境に埋もれるのではなく、さらなる飛躍を目指してがんばっていききたいと思います。私たちの挑戦は、始まったばかりです!(ラクロス同好会 吉浦 奈津子)



バトン愛好会・九州大会で優勝 全国大会で踊りたい

バトン愛好会は、昨年4月に結成されたサークルです。10月に行われた全九州バトンフェスティバルでは、金賞という好成績を修めることができました。

もちろん、練習は楽ではありませんでした。自分たちの求める演技ができるのか、時間は足りるのか、など不安とあせりでたまらなくなる日もありました。でも、「結果にこだわらず楽しくやる」という目標のもと、ハードな毎日ながら楽しく過ごすことができました。



学園祭にて

チーム演技は皆がいて初めて出来るものです。そして、友達、恩師、家族などたくさんの方がいつも私たちを支えてくれていることへの感謝を忘れてはいけません。

「全国大会で踊ること」が私たちの夢であり目標です。今しかできないことを精一杯悔いのないよう頑張ります。

(バトン愛好会 大塚 結子)

三成教授・研究事例発表

「2001年度コーディネータサミット」にて研究事例発表 全国サミットで、先進事例6機関に選出

研究者 三成 由美 教授(短期大学部 食物栄養科)
徳井 教孝 氏(産業医科大学 産業生態科学研究所)
共同研究者 福本 あずさ 助手(短期大学部 食物栄養科)



平成13年11月、経済産業省・全国中小企業団体中央会が、全国の「コーディネータ」を一同に集め、情報交換や成果発表会の場とする「2001年度コーディネータサミット」を開催した。このサミットで、三成教授、徳井教孝氏が、九州経済産業局より九州代表として推薦を受け、全国の先進事例となる6機関に選ばれた。

当日は、両研究者の行っている、「コーディネート活動支援事業」の「新規成長産業連携支援事業」について、研究事例発表を行った。事業では、平成12-13年度にかけて、福岡食品交流プラザ(福岡県下の異業種交流団体)に参加している食品会社11社とともに、健康増進に有効な機能性食品・商品の研究・開発を行っている。また、11社が統一ブランドでロゴマークを作成し、商品の売り込みを図っているが、これらの食品は、サミット当日のブースでも紹介された。

こういった産学連携事業は、現在注目をあびており、講演の依頼もきている。1月10日、姫路工業大学産学交流会の研究会では、産学連携の実施や成功例について基調講演を行った。

<三成教授 研究助成・受託研究採択>

研究	団体名	研究課題	金額
平成13年度新規成長産業連携支援事業(コーディネート活動支援事業)受託研究)	経済産業省・全国中小企業団体中央会	健康増進に有効な機能性食品・商品の研究・開発(徳井教孝氏との共同研究)	571万円
財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団研究助成	財団法人江頭外食産業及びホテル産業振興財団	24時間社会の食事の研究(徳井教孝氏との共同研究)	350万円
西部ガス株式会社受託研究	西部ガス株式会社	食膳メニューおよび調理方法の研究	100万円
福岡県漁業協同組合連合会研究助成寄付金	福岡県漁業協同組合連合会	海藻類有効利用についての研究助成	50万円

知識や知恵を強化

コーディネータサミット開く

今年度のサミットは、経済産業省・中小企業庁が推進する「コーディネータサミット」に携わる約150人のコーディネータをはじめ、支援機関関係者や中小企業から総勢300人以上が参加する盛況ぶりだった。

東京赤坂のホテルで26日開催した5回目を迎える今年度のサミットは、経済産業省・中小企業庁が推進する「コーディネータサミット」に携わる約150人のコーディネータをはじめ、支援機関関係者や中小企業から総勢300人以上が参加する盛況ぶりだった。

菅野利徳 全国中小企業団体中央会専務理事が「サミットの活動の芽につながれば、いよいよ」とあいさつ。近藤正春 経済産業省・中小企業庁経営支援部長は「経済成長の源泉となる中小企業は、自社の弱みも外部から補完して強化する必要がある」として、中小企業と外部の経営資源を引き合わせるコーディネータとしての連携の重要性を説いた。続いて、高賀賀賀サミット実行委員長による特別講演「コーディネータサミットの紹介」パネルディスカッションを実施した。

日刊工業新聞(平成13年11月27日)より転載

「どんぐりころころ」を英語にしたら?

飼牛教授が童謡を英訳

福岡市のJR博多駅に近い博多警察署裏に、市立藤田公園が装い新たに1月7日にオープン。緑の中に彫刻家鎌田恵務氏の優しさあふれる彫刻が点在して置かれ、懐かしい日本の童謡7編「浜辺の歌」から「たねの花」等が、日本語と英語で刻み込まれている。入り口には、全体をまとめた銘板も置かれている。英語を担当したのは、英語の作詩や翻訳を研究している流通科学部の飼牛万里教授。

公園を通り抜ける人、散歩する人、ゆっくり憩う人にとって、ユニークなビルの谷間のオアシスとなっている。ほっと一息、公園で童謡を英語で口ずさんでみてはいかがでしょうか。



「どんぐりころころ」や「ゆきやこんこ」など、日本語にしかない表現を、どのように英訳してあるかも、楽しみの一つ。

学園往来

ハワイ大学リーワード校 学長来訪

11月7日～9日、ハワイ大学リーワード校学長のMark Silliman氏が来学された。今回の訪問は、交流プログラム打ち合わせと、施設事前視察のため、学内施設や、中村調理師専門学校などを見学された。交流プログラムでは、来年2月にハワイのコミュニティーカレッジへ学生が訪問する他、5月には、ハワイ大学の学生を本学へ受け入れる予定である。



前列左がシリマン学長

平成13年度科学研究費補助対象研究・追加採択

文部科学省から交付される平成13年度の科学研究費補助対象研究が、次のとおり追加採択された。

基本研究	研究者	研究課題名	補助金交付額
基盤研究 (C)(2)	伊藤 和枝 教授 (家政学部/食物栄養学科)	肥満高血圧の減量による降圧機序と栄養・運動因子 - 特に血清レプチン値とインスリン抵抗性 -	130万円
	林 辰美 助教授 (家政学部/食物栄養学科)	乳幼児期における望ましい食生活の習慣づけに関する理論的・実践的研究	100万円

研究助成・受託研究等採択状況

平成13年度学習院大学計算機センター特別研究プロジェクト(研究助成) 「社会科学における非定常過程の数理モデルに関する研究」

社会科学のダイナミックな側面を扱う動的モデルはパラメータが自然科学のようにはっきり決められないものが多い。また、パラメータの値によってモデルにカオスおよび複雑系と呼ばれる現象が現れるものもある。このような非定常的な状態で、限られた時間内の擬似安定性を調べるにはシステム内の因果関係の回帰(フィードバック)分析が重要になる。この研究では社会現象の例として競合する集団や企業をもとにいくつかのモデルを作成し、フィードバックによるシステムの安定性や制御可能性について明らかにするのが目的である。また現在激しい競争が起きている国際通信やハイテク産業などを具体的な事例としてモデルの有効性を確かめる。



研究者
福永 吉徳 助教授
(流通科学部 流通科学科)
交付金額/1,000,000円

アジア太平洋センター7Aプロジェクト(受託研究) 「中国における『西部大開発』の戦略と実態 - 雲南省の事例を中心に -」

2001年4月にスタートしたこのプロジェクトは、中国の西部地域の開発を提案するものである。

雲南省など中国の西部地域は、東部の沿海地域に比較して発展が遅れており、著しい経済格差が生じている。このことが将来の社会不安や少数民族問題の火種になることが懸念されている。

雲南省は自然が豊かで民族の豊庫と呼ばれている。大変に魅力のある地である。研究は雲南省の専門家と共同で行い、インフラ整備、農産物の開発、民族問題など多岐にわたっている。今年には福岡市民への講演、本の出版を予定しており、雲南との交流も目的の一つである。



研究者
波平 元辰 教授
(家政学部 食物栄養学科)
交付金額/250,000円

2001年度日本物流学会JILS研究助成 「物流分野におけるPFI利用の可能性に関する研究」

PFIとは、Private Finance Initiativeの略であり、従来公的部門によって行われてきた社会資本の整備・運営等の分野に、民間事業者の資金、経営ノウハウ等を導入し、民間主導で効率的・効果的な社会資本の整備等を行うとする手法である。1992年に英国で始まり我が国でも1999年にPFI推進法が施行され、九州地域では、福岡市の「臨海工場余熱利用施設」や大分県の「女性・消費生活会館」の建設・整備・運営等でPFI利用に向けて動いている。本研究では、トラックターミナル、流通センター、外貿コンテナターミナル等の物流分野に絞り、PFI手法の利用可能性を探ることを目的としている。



研究者
男澤 智治 講師
(流通科学部 流通科学科)
交付金額/250,000円

生物系特定産業技術研究推進機構(生研機構)平成13年度新事業創出研究開発事業 「カンキツ食素材の健康増進効果の解明」

研究者
太田 英明 教授 (家政学部 食物栄養学科)
伊藤 和枝 教授 (家政学部 食物栄養学科)
古賀 信幸 教授 (家政学部 食物栄養学科)
共同研究者
石井 利直 助手 (家政学部 食物栄養学科)
金丸 知代 助手 (家政学部 食物栄養学科)
古賀 里利子 助手 (家政学部 食物栄養学科)
平成13年度交付金額/10,600,000円



太田 英明 教授 伊藤 和枝 教授 古賀 信幸 教授

政府は「ミレニアムプロジェクト」の一環として、民間企業を含めた産官学の研究共同体(コンソーシアム)を形成し、新事業、新雇用の創出を目指した技術開発に取り組んでいる。このうち、生研機構は生命科学分野を対象に、昨年度から最長5年間の研究プロジェクトで生活習慣病を予防する機能性作物、化学農業に代替する生物農業等の実現を目指した技術開発を進めている。

標記の研究課題は、平成13年度新事業創出研究開発事業(地域型)に公募した応募49課題から採択された6課題の一つ「カンキツの機能性成分を活用した保健機能食品の開発(中村学園大学、果樹研究所、愛媛県農業協同組合連合会、京都府立医科大学、沖縄経済農業協同組合連合会、琉球大学の6研究機関からなるコンソーシアム)の中課題をなすものである。特に、沖縄本島北部振興策の一つとして、沖縄産カンキツ、シイクワシャー事業の展開を意図しており、事業主体として沖縄経済農業協同組合連合会、現地の支援に琉球大学があたる。本学は、シイクワシャー等カンキツ食素材の開発とその化学的特性、動物試験による有用成分の代謝、食管理下で食素材のヒトの糖質・脂質代謝に関する試験研究を実施する。

大熊造園土木株式会社(受託研究) 「海洋深層水による魚介類の鮮度保持と水産・加工への利用」

代表研究者
吉岡 慶子 教授 (家政学部 食物栄養学科)
共同研究者
野村 秀一 助教授 (家政学部 食物栄養学科)
山田 愛 助手 (家政学部 食物栄養学科)
交付金額/1,000,000円



吉岡 慶子 教授 野村 秀一 助教授

海洋深層水とは一般に水深200m以深の、太陽光線の届かない、光合成の行われない層の海水と言われている。沖縄県恩納村にて、開発事業を進めている大熊造園土木株式会社が取水した海洋深層水について、水産、加工分野への活用としての魚介類の鮮度保持および栄養性、高ミネラル性などの機能を生かした食品の調理・加工への有効利用について研究を行うものである。海洋深層水を利用した鮮魚および解凍魚の鮮度保持における組織化学的変化を明らかにし、また、魚肉すり身ゲルの弾力増強作用などについて検討する。現在、海洋深層水の特性と機能解明に対する研究は緒についたばかりであり、今後、地域産業振興を視野に入れ、これらの有効性を利用した研究開発が期待されている。

編

集

中村学園大学

中村学園大学短期大学部

学長事務室

発行日

平成14年1月31日

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL.092-851-2531
Eメール: celery@nakanura-u.ac.jp
ホームページ: <http://www.nakanura-u.ac.jp/>

学校法人中村学園は、学園祖中村ハル先生が設立され、昭和28年(1953)12月24日に福岡県知事の認可を受け、翌、昭和29年(1954)4月福岡高等栄養学校を設置し、中村学園がスタートしました。昭和29年(1954)4月の福岡高等栄養学校開学から、平成16年(2004)4月で満50年を迎えます。